

令和5年度第1回練馬区立美術館運営協議会次第

日 時：令和5年11月17日（金）午後2時

場 所：サンライフ練馬 研修室

（審議事項）

1 令和4年度事業報告

- （1）展覧会事業
- （2）教育普及事業
- （3）美術作品の収集事業
- （4）施設利用状況
- （5）広報活動と反響

2 令和5年度事業計画（中間報告）

- （1）展覧会事業
 - ① 「生誕120年 大沢昌助」展
 - ② 「練馬区立美術館コレクション+植物と歩く」
 - ③ 「宇川直宏展 Final media therapist @Dommune」
 - ④ 「生誕120年 古賀忠雄展 塑造（像）の楽しみ」
 - ⑤ 「生誕150年 池上秀畝」展
- （2）教育普及事業
- （3）新型コロナウイルス感染症対策

3 その他

令和5年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会資料

令和5年11月

令和5年度第1回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和4年度事業報告	5
(1) 展覧会事業	
(2) 教育普及事業	
① 令和4年度教育普及事業実績	7
② 令和4年度博物館実習受入実績	15
③ 令和4年度美術館サポーター活動実績	16
(3) 美術作品の収集事業	
① 令和4年度美術作品の収蔵状況	17
② 令和4年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト	18
③ 令和4年度収蔵品貸出一覧	20
④ 令和4年度美術館収蔵品データベース閲覧件数	21
(4) 施設利用状況	22
(5) 広報活動と反響	23
2 令和5年度事業計画（中間報告）	
(1) 展覧会事業	30
① 「生誕120年 大沢昌助」展	31
② 「練馬区立美術館コレクション+植物と歩く」	32
③ 「宇川直宏展 Final media therapist @Dommune」	33
④ 「生誕120年 古賀忠雄展 塑造（像）の楽しみ」	34
⑤ 「生誕150年 池上秀畝」展	35
(2) 教育普及事業	36
(3) 新型コロナウイルス感染症対策	

第19期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハン コウジ 高橋 幸次	元日本大学芸術学部 教授
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学名誉教授
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	日本女子大学名誉教授
練馬区議会 議員	つじ セイシン 誠心	区議会議員
	イングロ たつお 石黒 たつお	区議会議員
	インモリ アイ 石森 愛	区議会議員
	コマツ あゆみ 小松 あゆみ	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	ハタ チエコ 畑 智江子	公募区民
	インハラ ヒデオ 石原 秀男	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	コムロ ケンイチ 小室 賢一	区立中学校校長
	ミヤザキ ハルミ 宮崎 晴美	区立小学校校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和4年度事業報告

(1) 展覧会事業

令和4年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月26日(日) ～8月14日(日)	生誕100年 朝倉摂展	43	16,555 (385)	10,164 (236)	61.4%
9月4日(日) ～11月3日(木)	日本の中のマネ －出会い、120年のイメージ－	52	22,880 (440)	18,434 (355)	80.6%
11月18日(金) ～2月12日(日)	平子雄一×練馬区立美術館コレクション inheritance, metamorphosis, rebirth [遺産、変形、再生]	70	16,450 (235)	5,852 (84)	35.6%
2月26日(日) ～4月16日(日)	本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コ レクション	43	15,480 (360)	13,111 (305)	84.7%
	合 計	208	71,365 (343)	47,561 (229)	66.6%
	前年度	132	44,050 (334)	52,045 (394)	前年度比 91.4%

(イ) コレクション展

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月10日(日) ～6月12日(日)	時代を映す絵画たち －コレクションにみる戦後美術の歩み－	55	11,000 (200)	3,232 (59)	29.4%
	合 計	55	11,000 (200)	3,232 (59)	29.4%
	前年度	73	8,400 (115)	8,606 (118)	前年度比 37.6%

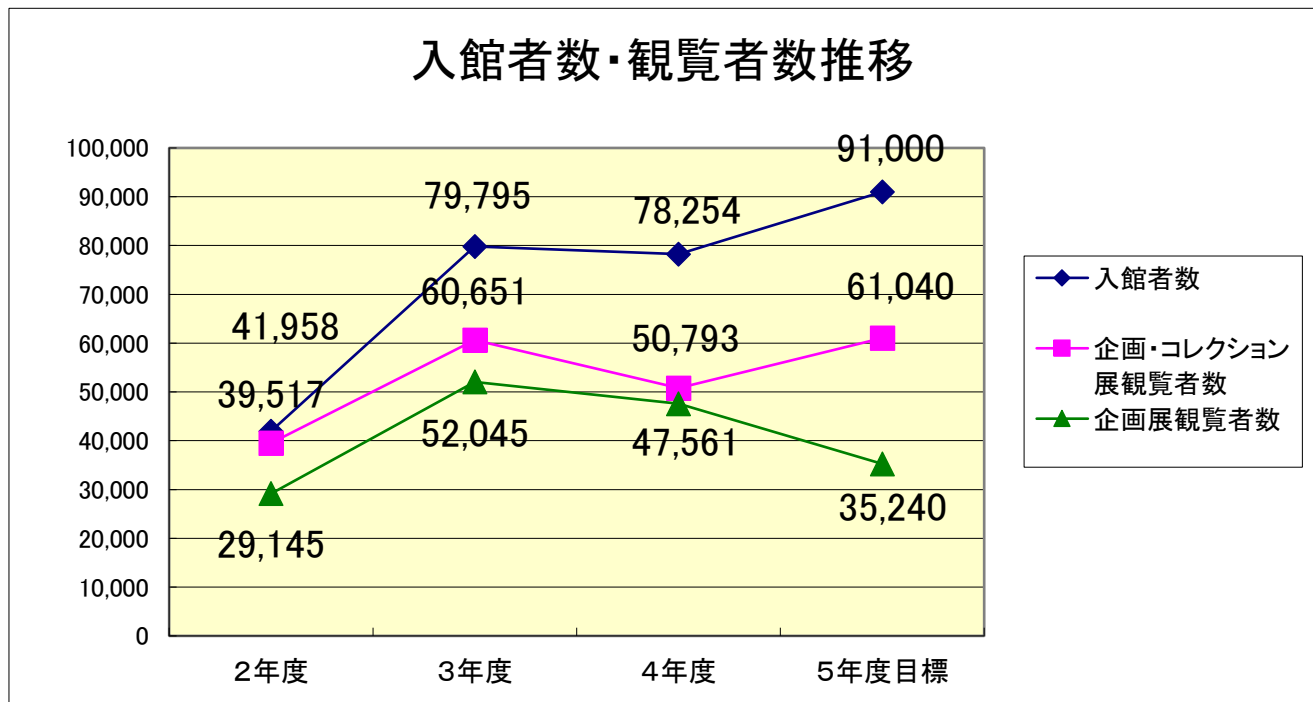
企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	3年度	4年度	前年度比
	60,651	50,793	83.7%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
11月18日(金) ～11月27日(日)	第68回練馬区美術家協会展	9	1,606 (178)	
1月14日(土) ～1月18日(水)	中学校生徒作品展	4	3,688 (922)	
1月21日(土) ～1月26日(木)	小学校連合図工展	5	6,599 (1,320)	
1月28日(土) ～1月29日(日)	小・中学校連合書きぞめ展	2	10,387 (5,194)	
2月4日(土) ～2月12日(日)	第54回練馬区民美術展	8	2,608 (326)	
合 計		28	24,888 (889)	前年度比 789.1%
前年度※		17	3,154 (186)	

※前年(令和3年)度は「美術家協会展」および「区民美術展」を開催。「中学校生徒作品展」「小学校連合図工展」「小・中学校連合書きぞめ展」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

入館者数比較	3年度	4年度	前年度比
	79,795	78,254	98.1%



(2)教育普及事業

①令和4年度 教育普及事業実績

令和5年9月30日作成

館内事業

1) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
時代を映す絵画たち展関連ワークショップ	「五月の風と光を描く」 5月28日(土) 10:30~17:00	浅見貴子 (美術家)	美術の森緑地で光や空気を観察しながら描いたスケッチに、水墨の点々や線で絵画制作を行った。	小学生以上	1,000円	10	29	10
朝倉撰展関連ワークショップ	「真井図書館×美術館 物語から浮かぶ絵」 7月17日(日) 13:30~16:30	眞子みほ (当館学芸員)	朝倉が挿絵を描いた『スイッチョねこ』のテキストから参加者が絵を描き1冊の絵本を作った。	中学生以上	300円 ※当日の観覧券が必要	20	12	9
朝倉撰展関連美術講座	「板に描く日本画 画材と技法を知る」 7月23日(土)・24日(日)【2日制】 10:30~17:00	ミヤケマイ (美術家)	朝倉展を鑑賞し、様々な日本画画材の知識を学びながら丸団扇型の板に日本画を描いた。	中学生以上	3,000円 ※初日の観覧券が必要	10	35	10
平子雄一×コレクション展関連ワークショップ	「シゼンさがし キャンパスにアクリル画を描こう」 12月3日(土) 10:30~17:00	平子雄一 (美術作家)	美術館のまわりを歩いて植物を探し、キャンパスに描いた。	小学4年生以上	3,000円 ※当日の観覧券が必要	12	22	12
							98	41
計4回 参加者延41名								

② ギャラリートーク・アーティストトーク・スライドトーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
時代を映す絵画たち展	学芸員によるスライドトーク 5月14日(土) 14:00~14:20	毛利義嗣 (当館副館長)	展覧会の見どころをスライドを使用し、解説	—	無料	30	11	9
	6月4日(土) 14:00~14:20					30	27	20
朝倉撰展	学芸員によるスライドトーク 7月8日(金) 15:00~15:20	眞子みほ (当館学芸員)	展覧会の見どころをスライドを使用し、解説	—	無料	20	29	21
	8月12日(金) 15:00~15:20					20	46	22
日本の中のマネ展	学芸員によるスライドトーク 9月16日(金) 15:00~15:30	小野寛子 (当館学芸員)	展覧会の見どころをスライドを使用し、解説	—	無料	40	35 ※抽選ではなく整理券を配布	34
	10月12日(水) 11:00~11:30					40	27 ※抽選ではなく整理券を配布	27
平子雄一×コレクション展	アーティスト・トーク 11月19日(土) 15:00~16:30	平子雄一 (美術作家) 毛利義嗣 (当館副館長)	出品作家による作品制作や今回の展覧会について、副館長との対話形式での講演	—	—	70	68	63
	学芸員によるスライドトーク 12月10日(土) 14:00~14:20	眞子みほ (当館学芸員)	展覧会の見どころをスライドを使用し、解説	—	—	40	13	11
	1月28日(土) 14:00~14:20	秋元雄史 (当館館長)				40	39	28
本と絵画の800年展	ギャラリートーク 3月11日(土) 15:00~15:30	西田有紀・ 佐藤菜々子 (吉野石膏美術振興財団職員)	展示作品について吉野石膏美術振興財団学芸員が解説	—	無料 ※当日の鑑賞券が必要	—	—	59
	3月25日(土) 15:00~15:30					—	—	50
	スライドトーク 4月9日(日) 15:00~16:00	野地耕一郎 (泉屋博古館東京館長)	本と本画を巡る東西画家往来について、省亭・楳嶺・劉生を中心に解説	中学生以上	無料 ※観覧券が必要(当日以外の半券でも可)	40	113	40
							408	384
計12回 参加者延384名								

③ 講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
朝倉撰展	トークイベント 「アヴァンギャルド 母 朝倉撰のこと」	7月16日(土) 15:00~16:30	富沢亜古 (俳優) 眞子みほ (当館学芸員)	朝倉の長女富沢亜古さん から撰さんとの思い出をお 話しいただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券 が必要(当 日以外の 半券でも 可)	30	134	32
日本の中のマネ 展	講演会 「エドゥアール・マ ネ～自由と逸脱の 絵画」	9月24日(土) 15:00~16:30	三浦篤 (美術史家・ 東京大学教授)	サロンに出展したマネ作品 を中心に作品の考察をして いただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券 が必要(当 日以外の 半券でも 可)	40	145	37
	講演会 「マネと印象派の 画家たち」	10月8日(土) 15:00~16:30	島田紀夫 (美術評論家・ 実践女子大学 名誉教授)	マネの代表作についてと印 象派の画家たちの関係性 を講演していただいた。	中学生以上		40	153	38
	講演会 「日本最初のマネ 紹介」	10月22日(土) 15:00~16:30	小野寛子 (当館学芸員)	日本でのマネの受容に関 する考察	中学生以上		40	80	32
本と絵画の800 年展	講演会 「挿絵と絵画-15,16 世紀北イタリアの写 本と初期刊本の関 係から-」	3月4日(土) 15:00~16:30	小佐野重利 (東京大学 名誉教授)	15,16世紀北イタリアの写本 と初期刊本との関係から、 挿絵と絵画の関係について 講演していただいた。	中学生以上	無料	70	101	64
								613	203
計5回 参加者延203名									

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
日本の中のマネ展 特別コンサート	9月17日(土) 18:20~19:30	平田侑(ピアノ)、 神野優子 (ヴァイオリン)	展覧会に関連した楽曲で 構成されたピアノと弦楽器 によるコンサート	中学生以上	1,500円(観 覧券付)	30	121	28
							121	28
計1回 参加者28名								

⑤ 鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
時代を映す絵画 たち展	トコトコ美術館 vol.40「かがみ」 【A】	4月23日(土) 10:30~12:00	美術館の約束をお話したあと、鏡のような作品(同じ形のモチーフがある、反転した形のモチーフがある、鏡や水面を描いたもの)を探し鑑賞、絵本『うつる』を皆で観、鏡のように反転した模様がでできるデカルコマニーで遊び鏡の絵を作った。	3~6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1~2名 +保護者1名)	無料 ※保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	8組 17名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.40「かがみ」 【B】	4月23日(土) 14:00~15:30					5組 10名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.40「かがみ」 【C】	4月24日(日) 10:30~12:00					12組 27名	5組 11名	
	トコトコ美術館 vol.40「かがみ」 【D】	4月24日(日) 14:00~15:30					7組 14名	3組 6名	
朝倉撰展	トコトコ美術館 vol.41「えのぐ」【A】	7月9日(土) 10:30~12:00	展示室で「ざらざらの絵」を見つけた後、絵本『まほうのえのぐ』を読み、小石を粉砕して膠と混ぜた日本画の絵具づくりを楽しんだ。	3~6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1~2名 +保護者1名)	無料 ※保護者 は当日の 観覧券が 必要	各回 5組	11組 27名	4組 9名	
	トコトコ美術館 vol.41「えのぐ」【B】	7月9日(土) 14:00~15:30					14組 29名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.41「えのぐ」【C】	7月10日(日) 10:30~12:00					21組 46名	3組 7名	
	トコトコ美術館 vol.41「えのぐ」【D】	7月10日(日) 14:00~15:30					10組 22名	5組 10名	
	拡大！美術館 vol.3「えのぐ」【A】	7月22日(金) 10:30~12:30	眞子みほ (当館学芸員)	絵の表面に注目して各自鑑賞し、小石から顔料を作り小さな日本画制作を行った。	小学生	300円 ※当日の 観覧券が 必要	各回 8名	24名	8名
	拡大！美術館 vol.3「えのぐ」【B】	7月22日(金) 14:00~16:00						17名	8名
	拡大！美術館 vol.3「えのぐ」【C】	7月31日(日) 10:30~12:30						26名	8名
	拡大！美術館 vol.3「えのぐ」【D】	7月31日(日) 14:00~16:00						26名	8名

日本の中のマネ展	あかちゃん和家人の鑑賞会【A】	10月2日(日) 10:30~11:30	眞子 みほ (当館学芸員)	家族で展示室を見て回り、最後にクレヨン・色鉛筆など画材を渡し子どもに自由に絵をかかせ、保護者はそれを真似して描いた。	0~2歳の乳幼児とその家族	無料 ※保護者は当日の観覧券が必要	各回10名	24組 68名	3組 7名	
	あかちゃん和家人の鑑賞会【B】	10月2日(日) 13:30~14:30		8組 24名	3組 10名					
	トコトコ美術館 vol.42「マネのまね」【A】	10月15日(土) 10:30~12:00		マネの油彩画を印刷したカードを渡し、各自その絵がもとになった版画作品をさがす。そのあとで絵本『かえっこ』を読み聞かせ、マネの作品を真似して描き、さらに保護者と交換してお互いの絵を真似して描く模写の模写をした。	3~6歳の未就学児+保護者(子ども1~2名+保護者1名)			各回5組	9組 19名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.42「マネのまね」【B】	10月15日(土) 14:00~15:30							3組 6名	4組 8名
	トコトコ美術館 vol.42「マネのまね」【C】	10月16日(日) 10:30~12:00							12組 28名	3組 7名
	トコトコ美術館 vol.42「マネのまね」【D】	10月16日(日) 14:00~15:30							10組 20名	5組 10名
平子雄一×コレクション展	拡大!美術館vol.4 テーマ「木」【A】	12月4日(日) 10:30~12:30	眞子みほ (当館学芸員)	展示室で描かれている木を見つけ鑑賞した後、美術の森緑地での木の皮のフロッタージュを含む様々な「木」を素材に、コラージュ作品を制作した。	小学生	300円 ※当日の観覧券が必要	各回8名	17名	7名	
	拡大!美術館vol.4 テーマ「木」【B】	12月4日(日) 14:00~16:00						9名	6名	
	アート句会 美術館で俳句をつくろう【A】	12月11日(日) 10:30~12:30	北大路翼 (俳人)	展示室を見て回り、作品をみて感じた気持ちや思いを5・7・5の俳句にした。それぞれの俳句を発表し、先生から講評をいただいた。	中学生以上	100円 ※当日の観覧券が必要	各回15名	5名	4名	
	アート句会 美術館で俳句をつくろう【B】	12月11日(日) 14:00~16:00						15名	14名	
	トコトコ美術館 vol.43「木」【A】	1月21日(土) 10:30~12:00	眞子みほ (当館学芸員)	展示室で木の描かれている絵画を探し、絵本『木はいない』を読み聞かせ、様々な木片をボンドで貼り合わせ自由な立体作品を制作した。	3~6歳の未就学児+保護者(子ども1~2名+保護者1名)	無料 ※保護者は当日の観覧券が必要	各回5組	24組 51名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.43「木」【B】	1月21日(土) 14:00~15:30						17組 38名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.43「木」【C】	1月22日(日) 10:30~12:00						18組 40名	5組 11名	
	トコトコ美術館 vol.43「木」【D】	1月22日(日) 14:00~15:30						33組 71名	5組 11名	
本と絵画の800年展	あかちゃん和家人の鑑賞会【A】	3月5日(日) 10:30~11:30	眞子みほ (当館学芸員)	家族ごとに赤ちゃんの様子を見ながら展覧会鑑賞をし、小さな本を作った。	0~2歳の乳幼児とその家族	無料※保護者は当日の観覧券が必要	各回10名	15組 48名	3組 8名	
	あかちゃん和家人の鑑賞会【B】	3月5日(日) 13:30~14:30						7組 22名	3組 10名	
	トコトコ美術館 vol.44「本」【A】	3月18日(土) 10:30~12:00	眞子みほ (当館学芸員)	カードにプリントされた本を各自展示室内を鑑賞しながら見つけ、渡り廊下で絵本『ほんくん』を読み、創作室で本を制作した。	3~6歳の未就学児+保護者(子ども1~2名+保護者1名)	無料 ※保護者は当日の観覧券が必要	各回5組	13組 27名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.44「本」【B】	3月18日(土) 14:00~15:30						10組 20名	5組 10名	
	トコトコ美術館 vol.44「本」【C】	3月19日(日) 10:30~12:00						14組 30名	5組 11名	
トコトコ美術館 vol.44「本」【D】	3月19日(日) 14:00~15:30	16組 34名						5組 11名		
								877名	288名	
								計32回 参加者延288名		

⑥ 託児サービス

事業名	日程	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
朝倉展	8月12日(金) 11:15~12:20	6か月以上の未就学児を預り、ゆっくり美術鑑賞を楽しんでいただきたい。	生後6か月以上の未就学児	無料 ※観覧券必要	4	1	1
日本の中のマネ展	10月14日(金) 11:15~12:20				4	2	1
						3名	2名
						計2回 参加者延2名	

II) ネリピラボ(自分の好きな材料で好きなものを造る実験室)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ネリピラボ「好きな材料で自由に造る/描く!カラフルなカタチ」	2月12日(日) 10:30~16:00	中津 季絵 (イラストレーター)	時間内のどこから参加しても何を作ってもよい実験室。各自好きなものを作って過ごした。	小中学生	1,500円 (材料費+保険料)	15	108	14
	2月26日(日) 10:30~16:00	山口 茉莉 (版画家)						13
	3月12日(日) 10:30~16:00	眞子 みほ (当館学芸員)						10
							108	37
							計3回 参加者延37名	

Ⅲ) 施設等紹介事業(施設や所蔵作品から美術館を知るプログラム)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ【A】	8月4日(木) 10:30~12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	美術館のぼこぼこざらざらの様々な場所に紙を当てて、色鉛筆で模様をこすり出し、集めて美術館の標本を作った。	5歳~ 小学2年生	100円 (材料費)	各回 10名	17	9
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ【B】	8月4日(木) 14:00~15:30						7	6
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ【C】	8月5日(金) 10:30~12:00						10	10
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ【D】	8月5日(金) 14:00~15:30						10	7
							44	32
計4回 参加者延32名								

事業計63回 参加者延1015名

学校関連事業

I) スクールプログラム

美術館の施設および展覧会を学校教育の学習に活用してもらうため、以下のプログラムを用意し、実施した。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率	
時代を映す絵画たち展	5月31日(火) 13:30~15:30	バックヤード見学、ワークシート記入、展覧会鑑賞を4クラスが順番に体験した。	学芸大学附属国際中等教育学校	105	7	
朝倉展	7月12日(火) 10:00~12:00	2クラスずつ来館しバックヤードと展覧会鑑賞を交互に行った。	練馬区立中村小学校・5年生5クラス	167	8	
	7月13日(水) 10:00~11:30	バックヤード見学と展覧会鑑賞を1クラスずつ交互に行った。事前授業を受け絵具の質感に注目したワークシートをもとに鑑賞した。	練馬区立八坂小学校・3年生2クラス	59	4	
日本の中のマネ展	9月29日(木) 9:25~11:35	担当が展覧会の紹介をした後、8グループに分かれ、西東京市のボランティアと展覧会を鑑賞した。	西東京市立本町小学校・4年生2クラス	59	19	
	10月12日(水) 10:00~11:10	10月5日の事前授業を受け、学校が用意したワークシートに書き込みながら自由鑑賞とした。今回は館内にいる人数が多かったため、3階から(順路の途中から)見なければならぬクラスもあった。	山崎学園富士見中学校・1年梅組	32	2	
	10月12日(水) 10:10~11:20		山崎学園富士見中学校・1年菊組	36	2	
	10月12日(水) 11:10~12:20		山崎学園富士見中学校・1年松組	34	2	
	10月12日(水) 13:45~14:55		山崎学園富士見中学校・1年竹組	36	2	
	10月14日(金) 10:10~11:20		山崎学園富士見中学校・1年桜組	35	2	
	10月15日(土) 11:00~12:10		山崎学園富士見中学校・1年桃組	36	2	
	10月15日(土) 11:10~12:20		山崎学園富士見中学校・1年藤組	33	1	
	10月25日(火) 10:00~10:40		9月の事前授業を受けて、各自が展覧会を見て回った。初めと終わりに挨拶をしたが、ワークシートはなく、皆色々話をしながら自由に鑑賞していた。	練馬区立中村小学校・6年1・2組	63	3
	10月25日(火) 10:40~11:20			練馬区立中村小学校・6年3・4組	62	2
10月25日(火) 11:20~12:00	練馬区立中村小学校6年5組	31		2		

平子雄一×コレクション展	1月26日(木) 10:00～11:00	学級閉鎖により中止	練馬区立石神井東小学校・4年生2クラス	—	—
本と絵画の800年展	3月8日(水) 10:40～11:25	事前授業を受けて、ワークシートを用いながら各自が自由に展覧会鑑賞を行った。	練馬区立豊溪小学校・6年生2クラス	69	4
				857	62
				計15回 延919名	

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	7月26日(火) 13:00～14:00	バックヤードと展示室を見学した。	東洋美術学校博物館展示論履修者	15	0
施設見学	12月9日(金) 10:00～10:40	美術館についての質問に答えた後、バックヤードと展示室を見学した。	練馬区立練馬第二小学校・2年3組	23	2
施設見学	12月9日(金) 10:50～11:30		練馬区立練馬第二小学校・2年1組	23	2
施設見学	12月13日(火) 14:00～14:45		練馬区立練馬第二小学校・2年2組	24	2
施設見学	1月17日(火) 10:00～11:00	美術鑑賞会の話の後、バックヤードと展示室を見学した。	練馬区立開進第四小学校・3年生3クラス	94	5
施設見学	1月18日(水) 11:00～12:30		自由学園中等科、高等科	15	2
施設見学	1月26日(木) 10:30～11:30		練馬区立橋戸小学校・4年生2クラス	50	4
				244	17
				計7回 延261名	

③ 職場体験・訪問 受付や監視、事務、学芸などいくつかの仕事を経験させ、美術館全体の役割を伝える。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数
職場体験	6月7日(火)・8日(水) 9:30～15:00	6月3日(金) 14:30～	練馬区立練馬東中学校・2年生	2
職場体験(訪問)	6月29日(水) 10:00～11:00	—	練馬区立石神井中学校・2年生	6
職場体験(訪問)	6月29日(水) 11:15～12:15	—	練馬区立石神井中学校・2年生	6
職場体験	6月30日(木)・7月1日(金) 9:30～15:00	6月17日(金) 14:00～	中野区立明和中学校・2年生	2
職場体験	6月30日(木)・7月1日(金) 9:30～15:00	6月10日(金) 14:30～	練馬区立田柄中学校・2年生	2
職場体験(訪問)	7月1日(金) 10:00～11:00	—	練馬区立石神井中学校・2年生	6
職場体験	7月7日(木)・8日(金) 9:30～15:00	6月28日(火) 14:25～	練馬区立南が丘中学校・2年生	2
職場体験(訪問)	7月26日(火)・27日(水) 10:00～12:00	—	練馬区立開進第三中学校・2年生	4
職場体験	8月2日(火) 9:30～15:00	—	女子聖学院中学校高等学校2年生	3
職場体験	8月5日(金) 9:30～15:00	—	都立西高校1年生	1
職場体験	9月6日(火)・7日(水) 9:30～15:00	9月2日(金) 15:00～	練馬区立関中学校・2年生	3
職場体験	9月8日(木)・9日(金) 9:30～15:00	7月15日(金) 14:30～	練馬区立石神井東中学校・2年生	2
職場体験	9月14日(水)・15日(木) 9:30～15:00	9月8日(木) 15:15～	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	3

職場体験	9月15日(木)・16日(金) 9:30～15:00	2名とも体調不良で中止	練馬区立貫井中学校・2年生	2
職場体験	9月15日(木)・16日(金) 9:30～15:00	9月7日(水) 14:30～	練馬区立大泉学園中学校・2年生	2
職場体験	10月12日(水)・13日(木) 9:30～15:00	9月15日(木) 15:15～	練馬区立光が丘第二中学校・2年生	3
職場体験	1月19日(木)・20日(金) 9:30～15:00	—	練馬区立中村中学校・1年生	2
職場体験	2月1日(水) 9:30～15:00	1月31日(火) 14:00～	宝仙学園中学校共学部・2年生	3
職場体験	2月2日(木) 9:30～15:00	1月31日(火) 14:00～	宝仙学園中学校共学部・2年生	3
				57
				計19回 延57名

④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

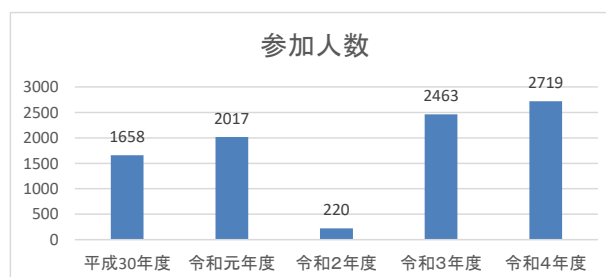
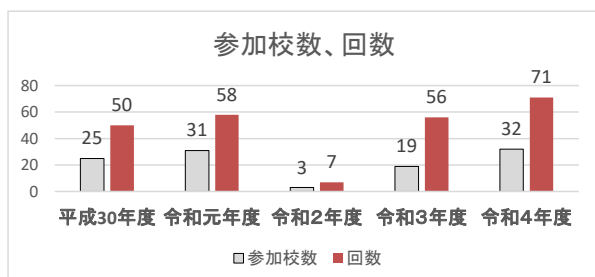
コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	6月9日(木) 9:25～10:10	7月の朝倉展覧見学の前に、朝倉撰作品の画像を使って鑑賞の授業を行った。美術館と朝倉の紹介のあと、《街頭に観る》《黄衣》《三人》を印刷した紙を渡し各自で何が描かれているか書き出す。次にグループで共有し各自の見つけたポイントから画中の人物に吹き出しをつけた。	練馬区立中村小学校・5年2組	167	7
	6月9日(木) 10:30～11:15		練馬区立中村小学校・5年4組		
	6月9日(木) 11:20～12:05		練馬区立中村小学校・5年5組		
	6月10日(水) 8:35～9:20		練馬区立中村小学校・5年3組		
	6月10日(水) 9:25～10:10		練馬区立中村小学校・5年1組		
	7月5日(木) 8:45～10:20	美術館と朝倉展について紹介したあと、校庭の小石を砕きボンドを混ぜた日本画絵具風の絵具を作り小さな紙に絵や模様を描いた。	練馬区立八坂小学校・3年1組	59	1
	7月5日(木) 10:40～12:15		練馬区立八坂小学校・3年2組		
	9月20日(火) 8:35～9:20	10月25日の「日本の中のマネ」展覧会の事前授業。パワーポイントでマネについて、マネから影響を受けた作品について解説。マネ作品を14点印刷した紙をグループごとに渡し、好きな作品の一部を先生制作の額縁を印刷したワークシートに模写した。	練馬区立中村小学校・6年1組	151	1
	9月20日(火) 9:25～10:10		練馬区立中村小学校・6年2組		
	9月21日(水) 8:35～9:20		練馬区立中村小学校・6年3組		
	9月26日(月) 9:25～10:10		練馬区立中村小学校・6年4組		
	9月26日(月) 10:15～11:00		練馬区立中村小学校・6年5組		
	9月21日(水) 10:25～11:10	11月の校内図工展で作品解説をする6年生に向けた授業。所蔵作品を題材に、テキストを分解し説明しながら解説文を書く練習をした。	練馬区立練馬第三小学校・6年1組	61	1
	9月21日(水) 11:15～12:00		練馬区立練馬第三小学校・6年2組		
10月5日(水) 10:40～11:20	美術館の紹介の後、マネ展について展覧会担当者から解説した。	富士見中学校年・1年生7クラス	257	1	
10月18日(火) 10:45～11:30	校内図工展で作品解説をするために、学芸員の仕事と解説をする際のポイントについて話した。	練馬区立関町小学校・6年生3クラス	130	1	

出張プログラム	11月12日(土) 8:25~9:15	当館所蔵の作品の画像をもとに「たくさんの答えが生まれる質問」をつくる鑑賞授業。1作目では「何が描かれているか」を生徒に発表してもらい、「時間は何時頃か」という質問に根拠を挙げて答えてもらった。2作目は、再び「何が描かれているか」を発表した後、質問作りは班ごとに行った。質問を記入したシートを班同士で交換して、別の班の質問の答えを考えた。最後はどうしてその答えになったのか作品に描かれているものを根拠として理由を話してもらった。	練馬区立富士見台小学校・6年2組	29	1
	11月12日(土) 9:15~10:00		練馬区立富士見台小学校・6年3組	30	1
	11月12日(土) 10:20~11:05		練馬区立富士見台小学校・6年1組	29	1
	11月29日(火) 9:35~10:20	総合的な学習の「12歳のハローワーク」のために、パワーポイントを使って仕事内容の紹介、学芸員になるために必要なこと、やりがい、困難なときの対処方法、なぜ働くのかについて話し、最後の5分ほどで質問を受け付けた。	東久留米市立第三小学校・6年3組	29	1
	11月29日(火) 10:45~11:30		東久留米市立第三小学校・6年2組	26	1
	11月29日(火) 11:35~12:20		東久留米市立第三小学校・6年1組	28	1
	12月2日(金) 13:40~15:15	所蔵品カードの中から2点以上の好きな作品を選び、作品の一部を変更したり組み合わせたりしながら模写作品を制作した。	練馬区立春日小学校・5年生	35	1
	2月16日(木) 10:50~12:25	所蔵品カードでゲームをしたのうち、好きな作品を2枚以上選び展覧会を企画した。展覧会名や会期などの情報を盛り込み、カードの絵を真似して描いたポスターを作成した。	練馬区立春日小学校・6年2組	23	1
	2月16日(木) 13:40~15:15		練馬区立春日小学校・6年1組	23	1
	2月28日(火) 8:50~10:25	3月8日に予定している「吉野石膏コレクション展」団体鑑賞のための事前授業。美術館と展覧会の紹介をパワーポイントで行い、出品されているプライベートプレスに倣って各自が小さな本を制作した。	練馬区立豊溪小学校・6年2組	28	1
	2月28日(火) 10:45~12:20		練馬区立豊溪小学校・6年1組	29	1
	3月17日(金) 9:35~10:20	パワーポイントでの美術館紹介後、所蔵品カードで探し物ゲームをし、A3の紙に所蔵品をコピーした用紙(15種)から好きな作品を選びその作品に合う額縁を制作した。	練馬区立八坂小学校・3年1組	28	1
	3月17日(金) 10:40~11:25		練馬区立八坂小学校・3年2組	31	1
				1,193	30
				計29回 延1223名	

⑤ その他 授業協力

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
授業協力	1月~3月	美術館のグッズ制作という授業課題に際し、出題とプレゼン見学、成果物のフィードバックを行った。	山崎学園富士見中学校・1年生	258	1
				258	1
				1回 259名	

スクールプログラム 計32校71回 参加児童・生徒・学生・引率 延2,719名



II) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

展覧会名	日程	参加人数
時代を映す絵画たち展	5月31日(火)15:30～	18
朝倉撰展	6月28日(火)15:30～	9
日本の中のマネ展	9月6日(火)15:30～	9
平子雄一×コレクション展	11月22日(火)15:30～	11
本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション	2月28日(火)15:30～	9
		56
計5回		延56名

III) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行う。
※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

貸し出し なし

その他

I) 団体鑑賞(一般)

受入日	学校・団体名	参加者
実施なし	—	—
		0
計0回		0名

II) インターン等受入

受入日	学校・団体名	人数
実施なし	—	—
		0
計0回		0名

② 令和4年度 博物館実習受入実績

実習実施期間 令和4年9月8日(木)～14日(水) 全5日間

※9月11日、12日を除く

No	大学名	学部等	人数
1	お茶の水女子大学	文教育学部 人文学科 哲学・倫理学・美術史コース専攻	1名
2	東京工芸大学	芸術学部 デザイン学科	1名
3	女子美術大学	芸術学部 美術学科 洋画専攻 版画コース	1名
4	武蔵野美術大学大学院	造形研究科 美術専攻 油絵コース 修士課程	1名
5	明治学院大学	文学部 芸術学科	1名
6	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
7	中央大学	文学部 人文社会学科	1名
8	多摩美術大学	美術学部 絵画学科 油絵専攻	1名
合		計	8名

(前年度9名)

③令和4年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(イベントの手伝い・美術関連資料整理等)を担ってもらうボランティア活動である。

令和4年度は総勢26名のサポーターが各展覧会の事業補助や美術関連資料の整理などに従事している。

サポーター活動の実績

令和4年4月～令和5年3月

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	3日	19名
美術関連資料整理		22日	174名
合 計		25日	193名

(令和3年度 18日 延145名)

(3) 美術作品の収集事業

① 令和4年度 美術作品の収蔵状況

(令和5年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28							317	28	573	601	
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16				3		28		50	50
2		1		12		1						17		6		37	37
3				62		1						3		30		96	96
4			2	20		5									2	25	27
合計	31	301	192	1535	75	917	1	48	0	1	1	67	1	2640	301	5509	5810

令和5年3月31日現在
寄託作品 1,783点

購入・寄贈・寄託計 7,593点

②令和4年度練馬区立美術館購入・寄贈・寄託等リスト

■(1)購入作品 2点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	福田美蘭	つるバラ「エドゥアール・マネ」	2022年	アクリル、パネル	227.2×181.8
2	平子雄一	inheritance, metamorphosis, rebirth への習作	2022年	アクリル、カンヴァス	100.0×300.0

■(2)寄贈作品 25点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	西村貴久子	寛城子露人街（新京）	1935年	油彩、カンヴァス	27.0×22.0
2	池田龍雄	BRAHMAN 第1章 梵天	1974年	アクリル、紙	79.2×54.5
3	池田龍雄	BRAHMAN 第2章 宇宙卵	1976年	アクリル、紙	41.0×39.5
4	池田龍雄	BRAHMAN 第3章 球体浮遊	1978年	アクリル、紙	54.5×79.0
5	池田龍雄	BRAHMAN 第4章 螺旋粒動	1979-80年	アクリル、紙	54.5×79.0
6	池田龍雄	BRAHMAN 第5章 点生	1981年	アクリル、紙	79.0×54.7
7	池田龍雄	BRAHMAN 第6章 気跡	1982年	アクリル、紙	78.5×54.5
8	池田龍雄	BRAHMAN 第7章 結象	1984年	アクリル、紙	79.0×54.8
9	池田龍雄	BRAHMAN 第8章 晶華	1985年	アクリル、紙	54.7×79.0
10	池田龍雄	BRAHMAN 第9章 褶曲	1986-87年	アクリル、紙	79.0×54.5
11	池田龍雄	BRAHMAN 第10章 場の相	1987年	アクリル、紙	79.0×54.5
12	福田美蘭	一富士 二鷹 三茄子	2022年	白修正液、カラーコピー	原画19.2×29.5 ポストカード300部 10.0×14.8
13	福田美蘭	ゼレンスキー大統領	2022年	アクリル、パネル	128.5×227.2
14	福田美蘭	テュイルリー公園の音楽会	2022年	アクリル、パネル	76.0×118.0
15	福田美蘭	ミュージアムショップのマネ	2022年	アクリル、パネル	162.1×130.3
16	福田美蘭	富士遠望 珈琲を飲む女性 切断後の「富士山」	2022年	アクリル、パネル	93.0×52.5 104.0 ×67.0 162.0× 130.3
17	福田美蘭	立体複製名画 マネ《オランピア》	2022年	広告チラシ 立体複製名画(額縁) オリジナル作品縮小プリント	36.6×51.8 70.0× 57.5×4.0 40.7× 60.0
18	福田美蘭	ヴィクトリーヌ・ムーラン	2022年	モノクロコピー、雑誌	各33.0×25.5 冊子18部

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
19	福田美蘭	LEGO Flower Bouquet	2022年	アクリル、パネル	162.0×130.3
20	平子雄一	inheritance, metamorphosis, rebirth	2022年	アクリル、カンヴァス	333.3×994.0
21	福田美蘭	日本経済新聞1998年5月3日	1999年	オフセット印刷、紙	8.5×7.0
22	福田美蘭	公明新聞2022年10月5日	2022年	オフセット印刷、紙	3.7×5.0
23	福田美蘭	日本経済新聞2022年10月5日	2022年	オフセット印刷、紙	7.2×5.0
24	福田美蘭	読売新聞2022年10月22日	2022年	オフセット印刷、紙	7.3×5.9
25	福田美蘭	朝日新聞2022年11月1日	2022年	オフセット印刷、紙	10.0×7.7

■(3) 寄贈資料 0点

■(4) 寄託作品 0点

■(5) その他 なし

③令和4年度 収蔵品貸出一覧

6施設の展覧会に、計23作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	目黒区美術館	「東京の猫たち」展	令和4年4月23日 ～6月12日	高山良策《盛りあがる海》 加藤清美《闇の劇場 幕間》 竹原嘲風《猫 写生(1921年)》《猫 写生 (1927年)》 小野木学《「ねこの王様」挿絵原画》 12点
2	奥田元宋・小由女美術館	「文化勲章受章記念 奥田 小由女展－元宋作品とともに」	令和4年4月29日 ～6月14日	奥田元宋《秋嶽紅樹》《妙義赤嶂》
3	渋谷区立松濤美術館	特別展「津田青楓 図案 と、時代と、」	令和4年6月18日 ～8月14日	津田青楓(編)『仏蘭西土産』(芸艸堂) 1910年刊
4	須坂版画美術館	岩切裕子 木版画展	令和4年9月17日 ～11月27日	岩切裕子《三幕の回廊》
5	郡山市立美術館	「記録する眼 豊穰の時代 明治の画家 亀井至一、竹 二郎兄弟をめぐる人々」	令和4年11月3日 ～令和5年1月9日	小林清親《小林清親写生帖》 寄託作品
6	群馬県立館林美術館	「夢と自然の探究者たち」 展	令和5年4月22日 ～6月25日 (※令和5年2月下旬より貸出)	J.-J.グランヴィル《週刊絵入新聞『マガザ ン・ピトレスク』》《もう一つの世界》 寄託作品

④令和4年度美術館収蔵品データベース閲覧件数

収蔵品については、平成17年にデジタルデータ化し、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、インターネットより当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

令和4年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	データベース (件)
4 月	769 件
5 月	730 件
6 月	866 件
7 月	786 件
8 月	734 件
9 月	1,101 件
10 月	929 件
11 月	665 件
12 月	612 件
1 月	1,033 件
2 月	802 件
3 月	888 件
合 計	9,915 件
平 均	826 件/月
(令和3年度	10,385 件)

(4) 施設利用状況

令和4年度 施設利用状況

① 展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	41	207	18,997	235	88.1
企画展示室	5	27	3,007	34	79.4
合計	46	234	22,004	269	87.0
(令和3年度)	33	165	13,966	256	64.5

② 創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
10	182	15	3,057	330	55.2
(令和3年度)	183	15	2,714	338	54.1

③ 施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	75	6.3	最高 5.5倍
	当選	35	2.9	平均 2.2倍
企画展示室	申込	6	—	12月・1月の一部貸出 平均倍率 1.3倍
	当選	4	—	

※展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 令和4年度 広報活動と反響

時代を映す絵画たち

令和4年4月10日～6月12日

<新聞>	
【記事】	【一覧】
美じょん新報 3月20日	朝日新聞 4月5日
東洋経済日報 4月1日	毎日新聞 首都圏版「遊ナビ」 4月8日
陸奥新報 4月24日	毎日新聞 美術館ガイド 4月1日
毎日新聞 4月18日	
赤旗新聞 5月27日	
<雑誌>	
月刊サライ 4月7日	
懸賞なび 3月22日	
<会員誌、フリーペーパー等>	
月刊 Kacce 4月1日	
地域情報誌「かるがも便り」4月1日	
<WEB>	
G-Call	インターネットミュージアム
FASHION PRESS	大人のカルチャーガイド
アートアジェンダ	じゃらん他
Sfumart	Tokyo Live & Exhibits
個展なび	ぴあアプリ
Tokyo Art Beat	ウェブ版美術手帖
OBIKAKE	ぴあポイントサイト
MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう	あるくあるける MAP&NEWS
<その他>	
ねりま区報 3月21日号	
練馬区多文化Facebook 3月22日	
ねりまほっとライン 3月・4月	
練馬区役所庁舎内等モニター広告 4月～6月	
練馬区公式 Twitter 4月14日	
練馬区公式ホームページ	
JCOM つながるニュース 4月26日	
貫井図書館だより	

<p><新聞></p> <p>【記事】</p> <p>東京新聞 4月20日、6月10日、25日 7月4日、13日、20日、27日</p> <p>日本経済新聞 5月14日</p> <p>東洋経済日報 5月27日</p> <p>陸奥新報 6月19日</p> <p>新美術新聞 6月15日</p> <p>毎日新聞 6月24日</p> <p>朝日新聞 6月7日、21日</p> <p>読売新聞 7月4日</p>		<p>【一覧】</p> <p>毎日新聞 6月17日、24日 7月15日、22日、29日</p> <p>朝日新聞 6月21日</p> <p>東京新聞 6月29日</p>	
<p><雑誌></p> <p>一枚の繪 3月21日</p> <p>芸術新潮 5月25日</p> <p>東京かわら版 5月28日</p> <p>月刊絵手紙 6月25日</p> <p>美じょん新報 6月20日</p> <p>美術の窓 6月20日</p> <p>月刊美術 6月20日</p>		<p>散歩の達人 6月21日</p> <p>芸術新潮 6月24日</p> <p>懸賞なび 7月1日</p> <p>和樂 7月1日</p> <p>芸術新潮 7月25日</p> <p>月刊MOE 7月1日</p> <p>月刊ギャラリー 7月1日</p>	
<p><会員誌、フリーペーパー等></p> <p>月間Kacce 6月1日</p> <p>定年時代 7月5日</p>			
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>FASHION PRESS</p> <p>G-Call</p> <p>Tokyo Live & Exhibits</p> <p>ぴあアプリ</p> <p>ぴあポイントサイト</p> <p>Sfumart</p> <p>月刊ezpress</p> <p>個展なび</p>		<p>インターネットミュージアム</p> <p>ウェブ版美術手帖</p> <p>青い日記帳</p> <p>あるくあるける MAP&NEWS</p> <p>マリ・クレール</p>	

<その他>

FM 調布 ゆうがた5 5月10日
NHK 日曜美術館アートシーン 5月29日
TOKYO MX わたしの芸術劇場 7月29日
ねりま区報 6月11日号
練馬区多文化 Facebook 6月21日
ねりまほっとライン 6月
練馬区役所庁舎内等モニター広告 6月～8月
練馬区公式 Twitter 8月4日
練馬区公式ホームページ
貫井図書館だより
貫井図書館・美術ブックリスト

<広告>

京王電鉄駅貼り広告（新宿駅、明大前駅）
読売新聞 7月8日
Instagram、Facebook、Twitter 広告

日本の中のマネー — 出会い、120年のイメージ

令和4年9月4日～11月3日

<新聞>

【記事】

毎日新聞 8月19日、9月28日
朝日新聞夕刊 8月30日
東京新聞 8月31日
新美術新聞 9月5日
産経新聞 9月9日
朝日新聞 9月20日、11月1日
公明新聞 10月5日
日本経済新聞 10月8日
読売新聞夕刊 10月22日

【一覧】

毎日新聞 8月19日、26日、
9月2日、9日、16日、23日、30日
10月7日、21日
朝日新聞夕刊 8月30日、10月11日
東京新聞 8月31日

<雑誌>	
美じょん新報 8月1日	サンデー毎日 9月12日
美術の窓 8月20日	アートコレクターズ 9月25日
懸賞なび 8月22日	月刊ギャラリー 9月1日
くらしの百科 8月10日	月刊江戸楽 9月20日
芸術新潮 8月24日、10月25日	散歩の達人 9月21日
月刊美術 8月20日	
<会員誌、フリーペーパー等>	
アートの旅 7月1日	定年時代 9月5日
月刊Kacce 8月1日	ぱる新宿ニュース 9月1日
光が丘 ima'am 8月1日	東京かわら版
月刊産業新潮 8月1日	船橋よみうり新聞 9月10日
てんとう虫/express 8月15日	
<WEB>	
アートアジェンダ	ウェブ版美術手帖
Tokyo Live & Exhibits	日本美術倶楽部
FASHION PRESS	Tokyo Art Beat
Sfumart	T JAPAN web
個展なび	ぴあポイントサイト
アートの旅	ウォーカープラス
インターネットミュージアム	Web 太陽
G-Call	あるくあるける MAP&NEWS
ぴあアプリ	
大人のカルチャーガイド	
<その他>	
	練馬区公式LINE 10月21日
FM 調布 ゆうがた5 8月2日	練馬区公式Facebook 10月20日
NHK 日曜美術館アートシーン 10月16日	練馬区多文化Facebook 10月27日
テレ朝動画 Musee du ももクロ 10月6日、 10月13日	練馬区役所庁舎内等モニター広告8月～11月 練馬区公式ホームページ
BS日テレ ぶらぶら美術・博物館 10月11日	貫井図書館だより
ねりま区報 8月21日号	貫井図書館・美術パスファインダー
練馬区公式Twitter 9月8日	
<広告>	
京王電鉄駅貼り広告（新宿駅、明大前駅、吉祥寺）	
Instagram、Facebook、Twitter およびYahoo!広告 9月2日～16日	
Instagram、Facebook、Twitter およびGoogle 広告 10月7日～21日	

平子雄一×練馬区立美術館コレクション [遺産、変形、再生]

令和4年11月18日～令和5年2月12日

<p><新聞></p> <p>【記事】</p> <p>毎日新聞夕刊 12月21日 山陽新聞 1月13日 公明新聞 2月7日</p>		<p>【一覧】</p> <p>朝日新聞夕刊 11月15日 東京新聞 11月16日 産経新聞 11月18日 読売新聞 11月18日 毎日新聞 12月2日、16日 1月13日、20日</p>	
<p><雑誌></p> <p>東京かわら版11月号 11月28日 月刊美術 12月20日 散歩の達人1月号 12月21日</p>		<p>アートコレクターズ1月号 12月23日 地域創造レター 1月1日</p>	
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ Sfumart MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう FASHION PRESS 美術展ナビ G-Call 個展なび ギャラリーガイドネット わくわく毎月プレゼント</p>		<p>アプリマガジン「週刊じゃらん」 Tokyo Live & Exhibits ウェブ版美術手帖 東洋経済日報 Padograph メトロポリタン+（東京新聞Webサイト）</p>	
<p><その他></p> <p>ねりま区報11月1日号 練馬区公式Twitter 11月18日 練馬区公式LINE 11月18日 練馬区多文化Facebook 1月19日 練馬区役所庁舎内等モニター広告11月～2月 練馬区公式ホームページ ロードふじみ商店街公式YouTubeチャンネル 11月22日</p>		<p>リベラルアーツ プログラム for Business 12月20日 1月18日 日本テレビ「THE ART HOUSE」12月26日 TBS「LIFE with ART」2月5日 ※YouTubeでも アーカイブ 貫井図書館だより</p>	

本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション

令和5年2月26日～4月16日

<p><新聞></p> <p>【記事】</p> <p>朝日新聞 2月21日 陸奥新報 東洋経済日報 毎日新聞夕刊 3月15日</p>		<p>【一覧】</p> <p>毎日新聞 2月17日 3月3日、10日、17日、24日、30日 朝日新聞夕刊 2月21日 東京新聞 3月1日 産経新聞首都圏版「東京プラス」</p>	
<p><雑誌></p> <p>美術の窓 12月号 芸術新潮 12月号 月刊 Kacce 1月号 懸賞なび 1月20日 美術の窓 1月20日 情報紙プレステン 1月28日</p>		<p>月刊 MOE 2月号 船橋よみうり新聞 2月号 アートコレクターズ 散歩の達人 3月号 文化展望 81号 新美術新聞</p>	
<p><会員誌・フリーペーパー等></p> <p>ねりまファミリーパック 2-3月号 asacoco 1月19日 光が丘 ima'am 2-3月号 定年時代 東京かわら版 2月号</p>			
<p><WEB></p> <p>とっておきの練馬 エコレポ Sfumart アートアジェンダ G-Call FASHION PRESS 美術展ナビ MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう レッツエンジョイ東京 Padograph 日英協会</p>		<p>GOTOKYO じゃらん net JR 西日本 全日空 ぴあポイントサイト ぴあアプリ Tokyo Live & Exhibits 今見られる全国のおすすめ展覧会 100 Savvy Tokyo eTOKI.art/ラクガキストつあおのアートノート アプリマガジン「週刊じゃらん」</p>	

<その他>

ねりま区報 2月1日号

練馬区公式 Twitter 3月4日

練馬区公式 LINE 3月4日

練馬区役所庁舎内等モニター広告 2月～

練馬区公式ホームページ

貫井図書館だより

BS日テレ ぶらぶら美術・博物館 3月21日

FM調布 ゆうがた5 1月17日

ねりまほっとライン 2月

<広告>

京王電鉄駅貼り広告（新宿駅、明大前駅、吉祥寺）

Facebook、Instagram、Twitter および Google 広告 2月20日～4月7日

SNSフォロワー数

練馬区立美術館公式 Twitter 7,064人（令和5年3月31日現在）

2 令和5年度事業計画

(1) 展覧会事業

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月29日 6月18日 <44日間>	【有料】 「生誕120年 大沢昌助」展				加藤
7月2日 8月25日 <47日間>	【有料】 「練馬区立美術館コレクション+植物と歩く」				木下
9月10日 11月5日 <49日間>	【有料】 「宇川直宏展 Final media therapist @Dommune」				眞子
11月17日 11月26日 <9日間>	【無料】 第69回練馬区美術家協会展		11月17日 2月25日 <82日間>	【無料】 「生誕120年 古賀忠雄展 塑造(像)の楽しみ」	眞子
12月5日 1月11日 <28日間>	(一般貸出)				
1月13日 1月17日 <4日間>	中学校生徒作品展				
1月20日 1月25日 <5日間>	小学校連合同工展				
1月27日 1月28日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月3日 2月12日 <9日間>	【無料】 第55回練馬区民美術展				
2月14日 2月25日 <11日間>	(一般貸出)				
3月16日 4月21日 <32日間>	【有料】 「生誕150年 池上秀畝」展				

「生誕 120 年 大沢昌助」展 開催要項

- 1 開催趣旨

大沢昌助（1903～1997）は戦前、戦後の社会背景を見据えつつ、ブレることのない独自のスタイルを貫いた昭和を象徴する美術家です。モダン、シンプル、自由そして軽やか。そんな言葉が大沢の作品には息づいています。

当館では最初期から晩年に至る、100 点以上もの作品を所蔵しており、1991 年の回顧展を皮切りに 1996 年の追悼展、父で建築家の大沢三之助との親子展など折にふれその芸術を紹介してきました。本展では生誕 120 年という記念の年にあたって、これまで紹介してきた作品に加え、作画の原点であるスケッチ類や三之助作品を含む新収蔵品、調査の中で新たに発見された作品、ことに 1980～90 年代にかけての晩年の抽象画を含めた約 120 点で大沢芸術の豊かさを多面的に紹介する展覧会です。
- 2 会 期 令和 5 年 4 月 29 日（土・祝）～6 月 18 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 油彩画、版画、スケッチブックなど 約 120 点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 講演会、スライドトーク、ワークショップ、鑑賞プログラムを開催
- 8 観 覧 者 4,181人(95人／日)
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

「練馬区立美術館コレクション＋ 植物と歩く」 開催要項

- 1 開催趣旨

本展覧会では、収蔵作品を中心に植物をモチーフにした作品・資料をご紹介します。食べ物や道具の素材、鑑賞や畏怖の対象として、植物はわたしたちの日々の生活とわかちがたく結びつき、美術においても時代を超えて重要なモチーフであり続けてきました。当館の収蔵作品を特徴づける日本の近現代の作品のなかから、日本画や洋画、版画や彫刻などさまざまなジャンルの作品を展示し、植物の描かれ方の多様さを紹介しながら、植物がいかに美術作家を触発してきたかを探ります。

また、科学的な知見に基づく、牧野富太郎らによって描かれた植物のイメージもご紹介します。牧野富太郎（1862-1957）は、晩年の30年間を大泉で暮らした練馬区ゆかりの植物学者です。日本の植物学の黎明期に大きな足跡を残した牧野は、科学者として、またひとりの人間として植物を愛した人物でした。本展覧会では、練馬区立牧野記念庭園等の協力を得て、牧野が制作した植物画や植物標本を展示します。

美術のジャンルや専門を超えて作り手たちは植物を観察しその特徴を描き出そうとするなかで、普段わたしたちが気づかずに通り過ぎてしまうような植物の美しさや不気味さに迫り、その人独自の植物を作品のなかで創造していくのかもしれない。本展を通じて、美術館の中でこそ見られる植物の魅力に出会っていただければ幸いです。
- 2 会 期 令和5年7月2日(日)～8月25日(金)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 作家：佐田勝、須田悦弘、竹原嘲風、牧野富太郎、本橋雅美、森白甫ほか
作品：日本画、油彩画、版画、彫刻、スケッチブックほか 約80点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 500円
- 7 イベント ギャラリートーク、ワークショップなどを開催
託児サービスを実施
- 8 観 覧 者 11,942人(254人／日)
- 9 担 当 学芸員 木下紗耶子

「宇川直宏展 Final media therapist @Dommune」 開催要項

- 1 開催趣旨 宇川直宏（1968年～）は、1980年代末より映像作家、グラフィックデザイナー、VJ、文筆家、キュレーターなど多岐にわたる活動を展開するアーティストです。2010年には世界に先駆けてライブ・ストーリーミング・チャンネル「DOMMUNE（ドミューン）」を開局し、毎夜、多種多様なトーク、DJプレイ、ライブやトークセッション等を世界に配信し、国内外の先端的なアートシーンに大きな影響を与えています。

宇川はスタジオで日々産み出される番組の、撮影行為、配信行為、記録行為を、自らの“現在美術作品”と位置づけています。また宇川は日夜配信し続けることを、テレビやラジオ、新聞、雑誌、またはインターネット等様々なメディアの盛衰に対し、オルタナティブの側からセラピーを行っている感覚であるとも言います。

本展では、13年間のDOMMUNEの膨大な番組アーカイブをいくつものインスタレーション形式で紹介するとともに、それらの映像を素材として、絵画という他メディアに拡張・変換・創造し、“描く”という行為の歴史的なアップデートを図ります。番組を絵画化するのには、様々な年齢・多様な背景を持つ人々、そして人工知能です。近年広く普及し始めたジェネレーティブAI¹による画像生成に着目し、描くとは何か、今世紀的な作家性や作品のあり方、もしくはそこから創出される価値とは何かなど、“近代・現代・現在美術”を新たに捉え直すプロジェクトとなります。また会期中には美術館を舞台としてライブ・ストーリーミングが行われ、さらなる情報の蓄積を目にすることができます。毎日大量の人々が行き交うプラットフォームであり、芸術／文化情報の泉源であるファイナルメディア「DOMMUNE」を、様々に変換し創造する試みを紹介します。

- 2 会 期 令和5年9月10日(日)～11月5日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 絵画、映像、インスタレーションなど 約100点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000円
- 7 イベント 配信イベント、ギャラリートーク、ワークショップなどを開催
- 8 観 覧 者 見 込 19,600人(400人／日)
- 9 担 当 学芸員 眞子みほ

¹ 「生成AI」。新たなデータや情報を生成するための機械学習機能。

「生誕 120 年 古賀忠雄展 塑造(像)の楽しみ」 開催要項

- 1 開催趣旨

練馬区ゆかりの彫刻家・古賀忠雄（1903-1979）を紹介する展覧会です。

佐賀県佐賀市に生まれた古賀は、高等科を卒業後、佐賀県立有田工業高校図案絵画科に入学し、教師であった日本画家・腹巻丹丘に才能を認められます。1926年には東京美術学校彫刻科塑像部本科に入学。在学中の1929年第10回帝展に《仏心》を出品し初入選しました。その後帝展で活躍し、戦後は日展の評議員、理事を務めながら、日本彫塑会委員長、日本陶彫会会長などを歴任しました。古賀は区内に長くアトリエを構えており、当館では1988年に「彫刻家古賀忠雄の知られざる世界」を開催しています。

古賀が表現手段とした彫塑は、作家が直接手をかけた原型が保管・展示されることは多くなく、他の人の手による鋳造過程を経て作品が発表の舞台に出ていきます。さらに、同じ型から複数の作品を生み出すことのできる、複製芸術でもあります。また、屋外に設置され公共性の高い存在となることも多く、制作の背景のみならず設置前後の様々な過程は実に興味深いものです。

本展では当館及び練馬区所蔵の12作品と古賀のアトリエに遺された石膏原型に加え、区内または他地域に設置された古賀作品をパネルで提示します。また制作工程の紹介や、複製された小品を手にとって比べてみるコーナーを設けるなど、彫塑作品の面白さを様々な角度からお楽しみいただきます。
- 2 会 期 令和5年11月17日（金）～令和6年2月25日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 ブロンズ、石膏などの彫塑作品・原型 約30点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、ワークショップ、鑑賞プログラムなどを開催
- 8 観覧者見込 16,400人(200人/日)
- 9 担 当 学芸員 眞子みほ

「生誕 150 年 池上秀畝」展 開催要項

- 1 開催趣旨

池上秀畝（1874-1944）は、長野県上伊那郡高遠町（現在の伊那市）に生まれ、1889（明治 22）年、本格的に絵を学ぶため上京。当時まだ無名だった荒木寛畝の最初の門人・内弟子となり、1916 年から 3 年連続で文展特選を受賞、帝展で無鑑査、審査員を務めるなど官展内の旧派を代表する画家として活躍しました。

同じく長野県出身で、同じ年の菱田春草（1874-1911）らが牽引した「新派」の日本画に比べ、秀畝らの「旧派」と呼ばれる作品は近年の展覧会等で取り上げられることは少なく、その知名度は限られたものに過ぎませんでした。しかし、伝統に基づく旧派の画家たちは、会場芸術として当時の展覧会で評価されることのみならず、屏風や建具に描かれた作品は屋敷や御殿を飾る装飾美術としても認められていました。特に秀畝は寛畝のもとで身につけた徹底した写生に基づく描写や、新派の画家たちが取り組んだ空気感の表現なども取り入れ、伝統に固執しない新しい表現も見せています。

2024（令和 6）年は秀畝の生誕 150 年にあたり、彼の人生と代表作をたどり、画歴の検証を行うと共に、新たなる視点で「旧派」と呼ばれた画家にスポットを当てる展覧会です。
- 2 会 期 令和 6 年 3 月 16 日（土）～ 4 月 21 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 日本画、下図類など 約 100 点
- 5 図 録 制作
- 6 観 覧 料 1,000 円
- 7 イベント 講演会、スライドトーク、ワークショップなどを実施
- 8 観覧者見込 9,600 人（300 人／日）
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

(2)教育普及事業

令和5年度 教育普及事業

令和5年9月30日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	大沢昌助展 関連ワークショップ 「大沢作品と公園の植物をそうぐうさせてコラージュ作品をつくろう！」 講師:弓指寛治(画家)	5月21日(日)10:30～15:00	1	小中学生	10名	10名
2	コレクション+植物と歩く 関連ワークショップ 「ミシンがっなぐ、光る葉っぱのロープ。」 講師:徳本萌子(アーティスト)	7月17日(月)10:30～17:00	1	小学4年生以上	10名	9名
3	コレクション+植物と歩く 関連アート de ねりまち ワークショップ 「外で植物をみつけて絵にかこう！」 講師:伊藤千恵(練馬区立牧野記念庭園学芸員)	7月23日(日)10:30～15:00	1	小学生	15名	14名
4	貫井図書館×美術館ワークショップ 「植物美術館図鑑～絵の中の植物を調べて作る新しい図鑑」 講師:貫井図書館職員、当館学芸員	8月6日(日)13:30～16:30	1	小学3年生～中学生	15名	12名
5	宇川直宏展 関連ワークショップ 「DOMMUNE DRAWING TV ～ドミューンの絵を描こう！」 講師:宇川直宏(アーティスト)	8月 1日(火)19:00～21:00	1	16歳以上	30名	19名
		8月11日(金)15:00～17:00	1	小中学生	30名	17名
		9月17日(日)17:00～19:00 9月18日(月)17:00～19:00	2	小学生以上	各回20名	20名 14名
6	宇川直宏展 関連アートdeねりまちワークショップ 「貫井図書館×美術館 練馬の新しい風景を発見しよう」 講師:貫井図書館職員、当館学芸員	10月22日(日)10:30～17:00	1	小学4年生以上	20名	—
7	古賀忠雄展 関連美術講座 「セメントで作るマイモニュメント」 講師:水野谷憲郎(彫刻家)	1月 7日(日)10:30～17:00 1月14日(日)14:00～17:00【2日制】	1	中学生以上	10名	—
8	古賀忠雄展 関連美術講座 「粘土で「私」をかたちづくるー塑造と型取りー」 講師:中谷ミチコ(彫刻家)	1月27日(土)10:30～17:00 1月28日(日)10:30～17:00【2日制】	1	中学生以上	10名	—
9	古賀忠雄展 アートdeねりまち関連まちあるき 「屋外彫刻とまちの記憶を巡ろう」	11月18日(土)10:30～12:30、14:00～16:00 11月19日(日)10:30～12:30、14:00～16:00	4	中学生以上	各回10名	—
10	アートdeねりまち アートマルシェ	1月20日(土)10:00～15:00 1月21日(日)10:00～15:00				

② ギャラリートーク・スライドトーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「大沢昌助」展 スライドトーク	5月27日(土) 14:00～14:20	1	—	40名	21名
2	「練馬区立美術館コレクション+植物と歩く」ギャラリートーク	7月 8日(土)15:00～15:20 8月19日(土)15:00～15:20	2	—	—	55名 74名
3	「古賀忠雄」展 ギャラリートーク	12月 9日(土)14:00～14:30 1月13日(土)14:00～14:30	2	—	—	—

③ 鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	「大沢昌助」展関連 トコトコ美術館vol.45 テーマ:いろ	5月13日(土)10:30~12:00、14:00~15:30 5月14日(日)10:30~12:00、14:00~15:30	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	19組 41名
2	「大沢昌助」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	6月3日(土)10:30~11:30、13:30~14:30	2	0~2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 10名	6組 20名
3	「大沢昌助」展関連 拡大!美術館 vol.5 テーマ:いろ	6月4日(土)10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学生	各回 8名	13名
4	「コレクション+植物と歩く」関連 トコトコ美術館 vol.46 テーマ:しよくぶつ	7月29日(土)10:30~12:00、14:00~15:30 7月30日(日)10:30~12:00、14:00~15:30	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	17組 37名
6	「古賀忠雄」展関連 トコトコ美術館vol.47 テーマ:かお	11月25日(土)10:30~12:00、14:00~ 15:30 11月26日(日)10:30~12:00、14:00~ 15:30	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	—
7	「古賀忠雄」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	12月2日(土)10:30~11:30、13:30~14:30	2	0~2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 10名	—
8	「古賀忠雄」展関連 拡大!美術館 vol.6 テーマ:かお	12月3日(日)10:30~12:30、14:00~16:00	2	小学生	各回 8名	—
9	「池上秀敏」展関連 トコトコ美術館 vol.48 テーマ:未定	未定	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	—
10	「池上秀敏」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	未定	2	0~2歳の赤 ちゃんとその 家族	各回 10名	—

④ 講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	大沢昌助展 関連講演会 「大沢昌助・作品の魅力について」 土方明司(川崎市岡本太郎美術館館長)	5月20日(土)15:00~16:30	1	中学生以上	70名	34名
2	宇川直宏展 関連 「作家による展覧会ツアー」	9月10日(日) 16:00~16:45 9月16日(土) 15:00~15:45 9月17日(日) } 16:00~16:45 9月18日(月) } 10月9日(月) } 10月14日(土) } 10月15日(日) } 10月20日(金) } 10月21日(土) } 15:00~15:45 10月22日(日) } 11月3日(金) } 11月4日(土) } 11月5日(日) }	13	—	—	202名 (9月30 日現在)
3	宇川直宏展 関連 「THE FINL MEDIA DOMMUNE ライヴストーリーミング」	9月10日(日) 17:00~19:45 9月16日(土) } 10月9日(月) } 10月14日(土) } 10月15日(日) } 10月20日(金) } 10月21日(土) } 16:00~19:45 10月22日(日) } 11月3日(金) } 11月4日(土) } 11月5日(日) }	11	—	—	87名 (9月30 日現在)
4	古賀忠雄展 関連トークイベント 「戦中の古賀忠雄作品と彫刻家たち」 小田原のどか(彫刻家・評論家)	2月4日(日)14:00~15:30	1	—	—	—
5	古賀忠雄展 関連トークイベント 「男性裸体像について」 木下直之(静岡県立美術館館長)	2月17日(土)14:00~15:30	1	—	—	—
6	池上秀敏展 関連トークイベント	未定	1	—	—	—

⑤ ミュージアムコンサート・ライブパフォーマンス等

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加
1	「コレクション+植物と歩く」特別コンサート 出演:守重結加(ピアノ)	7月22日(土)18:30~19:40	1	中学生以上	50名	46名

II) ネリビラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	ネリビラボ	1~3月	3	小中学生	15名	—

III) 施設等紹介事業(施設や所蔵品から美術館を知るプログラム)

	事業名	開催日	回数	対象	定員	参加
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロタージュ	8月4日(金)10:30~12:00、14:00~15:30 8月5日(土)10:30~12:00、14:00~15:30	4	5歳~ 小学2年生	各回 10名	33名

学校関連事業

I) スクールプログラム 内容を記載したパンフレットを作成し各学校に配布する。

① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする。
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする。

II) ティーチーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。

各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

令和5年度は5回開催する。

	展覧会名	参加人数
1	「生誕120年 大沢昌助」展	22名
2	「練馬区立美術館コレクション+植物と歩く」展	12名
3	「宇川直宏」展	12名
4	「生誕120年 古賀忠雄」展	—
5	「生誕150年 池上秀畝」展	—